

# 愛知県感染症情報

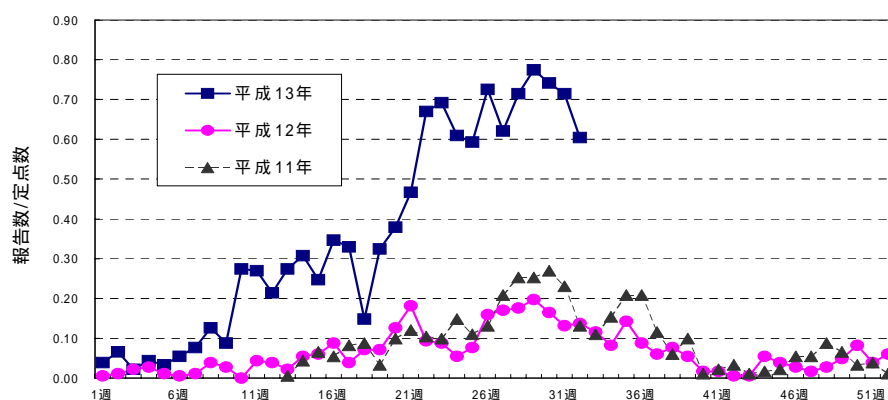
## 平成 13 年第 32 週（8 月第 2 週）

（コメント）

手足口病及びヘルパンギーナは、終息に向かっています。

流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱は引き続き報告数の多い状況が続いています。

先生方からのコメントにも病原性大腸菌感染症の報告が目立ちますので注意してください。



咽頭結膜熱（名古屋市を含む。平成11年は、13週（4月1日～）から）

（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
  - ・ サルモネラ O4 2名（3歳女、5歳女）  
マイコプラズマ感染症（気管支炎）3歳男  
（一宮市 あさのこどもクリニック）
  - ・ 病原性大腸菌感染者 O1 4歳男。麻疹の小流行が続いています。  
2歳男。手足口病の流行は未だ衰えません。  
（尾西市 城後小児科）
  - ・ 咽頭結膜熱続発中、サルモネラ腸炎 O4 一例あり。  
（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）
  - ・ O18 1人。O6 1人。  
（犬山市 武内医院）
  - ・ マイコプラズマ肺炎 11歳男。  
ヘルパンギーナ尚小流行して居ります。  
（春日町 丹羽医院）

- ・ 感染症全体に減少している。  
(新川町 三輪医院)
- 尾張東部地区
  - ・ 相変わらず咽頭結膜熱が多くみられます。手足口病はさほど多くありません。マイコプラズマ肺炎 11歳男。  
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
  - ・ ヘルパンギーナ減少、手足口病、伝染性紅斑、溶連菌感染症等散発です。アデノウイルス感染症も減少、その他目立った感染症流行認めず。  
(瀬戸市 佐伯小児科医院)
  - ・ 無菌性髄膜炎1名。  
(小牧市 小牧市民病院)
  - ・ 流行性耳下腺炎が多い様です。帯状疱疹 4歳女。  
(小牧市 鈴木小児科)
  - ・ ヘルパンギーナ、突発性発疹、ムンプスなどがみられました。  
(春日井市 かちがわ北病院)
  - ・ カンピロバクター陽性 5歳男  
(東海市 小児科ハヤカワ医院)
- 西三河地区
  - ・ カンピロバクター *Jejuni* と病原性大腸菌 06 10歳女  
病原性大腸菌 055 1歳男、0159 5ヶ月男、0146 1歳女。  
(豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック)
  - ・ サルモネラ 04 3歳男、病原性大腸菌 01 と 0111 VT1・2(-) 6ヶ月男、サルモネラ 07 2歳男、サルモネラ 04 10ヶ月男、病原性大腸菌 0125 VT1・2(-) 6ヶ月  
(岡崎市 にいのみ小児科)
  - ・ サルモネラ 04 2歳  
(幸田町 とみた小児科)
  - ・ 病原性大腸菌 0153 2歳男。病原性大腸菌 01 と 025 の9歳男。  
腸炎ピブリオと病原性大腸菌 0111 の30歳女。  
(岡崎市 川島小児科水野医院)
  - ・ 病原性大腸菌 (018 と 025 の1歳女、01 の2歳女、0126 の4歳女)。病原性大腸菌 06 とサルモネラ 09 の4歳男。  
サルモネラ 04 7歳男。カンピロバクター 3歳男。  
(岡崎市 花田こどもクリニック)

- ・ 麻疹 1 歳女ワクチン未接種。  
サルモネラ 08 1 歳女、04 5 歳女  
(碧南市 永井小児クリニック)
  - ・ EKC (流行性角結膜炎) 3 名 (4 歳男、6 歳男、5 歳女)  
(高浜市 高浜市民病院)
  - ・ 咽頭結膜熱はチェック A d \* 陽性例です。  
(西尾市 やすい小児科)
- アデノチェック\* : 免疫クロマト法によるアデノウイルス抗原迅速検出キット。
- ・ サルモネラ腸炎 04 ( + )、11 歳女  
(西尾市 山岸クリニック)
- 東三河地区
  - ・ サルモネラ 04 1 歳男  
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)
  - ・ 0128 陽性 1 名  
(蒲郡市 蒲郡市民病院)

(1~3 類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 8 名

- ・ 豊橋市保健所から報告の 45 歳男 (7/28 発病、7/29 初診、8/6 診定)。7 歳男 (8/1 発病、8/4 初診、8/7 診定)。3 ヶ月男 (7/31 発病、7/31 初診、8/10 診定)。8 歳男 (8/8 発病、8/8 初診、8/11 診定)。5 歳女 (8/1 発病、8/9 初診、8/12 診定)。菌型はいずれも 0157 VT1・2 ( + )。
- ・ 瀬戸保健所から報告の 2 歳女 (7/28 発病、7/30 初診、8/3 診定)。28 歳男 (8/2 発病、8/7 初診、8/11 診定)。菌型はいずれも 0157 VT1・2 ( + )。
- ・ 春日井保健所から報告の 53 歳女。7/31 発病、7/31 初診、8/8 診定。菌型は、0157 VT1・2 ( + )。

腸管出血性大腸菌保有者 2 名

- ・ 西尾保健所から報告の 52 歳女。7/31 初診、8/6 診定。菌型は、0157 VT1・2 ( + )。
- ・ 足助保健所から報告の 27 歳男。8/4 初診、8/8 診定。菌型は、0157 VT1・2 ( + )。

(全数把握の4類感染症の発生状況)

オウム病患者1名。

急性ウイルス性肝炎A型患者1名。

第30週(7月23日~7月29日)の4類感染症の全国状況

流行性耳下腺炎は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が12週間続いており、都道府県別では佐賀県6.0、石川県5.2、福井県5.1などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が2000年第41週から続いており、都道府県別では滋賀県、群馬県各1.4、岐阜県1.3などの報告がある。麻疹、流行性角結膜炎などの定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)